

平成23年度 第15回 経営戦略会議 審議結果

日時：平成24年2月7日（火）13：00～14：15

場所：5階庁議室

- 【議題】 熊本市高齢者居住安定確保計画の素案について
- 【提案局】 都市建設局
説明者：高田都市建設局長（大久保建築計画課長）
- 【出席者】 幸山市長、西島副市長、寺崎副市長、岡田企画財政局次長、重浦総務局長、飯銅市民生活局長、續健康福祉局長
- 【付議内容】 熊本市高齢者居住安定確保計画の素案を確定したい。
- 【資料】 ◇付議事項調書（様式1）
◇熊本市高齢者居住安定確保計画（素案）【概要版】
◇熊本市高齢者居住安定確保計画（素案）【本編】
◇熊本市高齢者居住安定確保計画（素案）【資料編】
◇政策調整会議内容（様式4）
- 【審議結果】 ◆一部修正のうえ了承
- 【議事概要】 ◇熊本市高齢者居住安定確保計画の素案を確定した。
- 【主な意見】 ◇生活利便性の高い地域拠点などへの高齢者向け住宅の整備促進という方向性については理解できる。（西島副市長）
◇地域拠点の設定について、熊本市都市マスタープランにおける地域拠点との整合を図る必要があるものの、具体的な線引きについては、別個に検討を行うこと。（幸山市長）
◇市営住宅については、老朽化に伴い単に廃止するということだけでなく、縮小していく中で、まちづくりの観点を含め、あり方を検討してまいりたい。（高田都市建設局長）
◇市営住宅はセーフティーネットとして必要ではあるが、住宅の供給については、できるだけ民間活力を活用していくという形にすべき。（寺崎副市長）
◇今後については、本市全体における高齢者の居住分布や単身高齢者の世帯数等の調査結果を踏まえ、施策の展開を図ること。（寺崎副市長）
◇サービス付き高齢者向け住宅等の供給目標の数値については、算定の考え方や、どんな施設・どんな高齢者をターゲットとしているのかわかるような資料をつけること。（西島副市長・寺崎副市長）
◇供給目標の内訳についても整理する必要がある。（岡田企画財政局次長）